



文部科学省

MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

WWL(ワールド・ワイド・ラーニング) コンソーシアム構築支援事業 に関する事務局説明

令和4年7月1日

文部科学省初等中等教育局
参事官(高等学校担当)付

1. WWL(ワールド・ワイド・ラーニング)コンソーシアム構築支援事業について
2. 今年度の事業予定及び今後の事業実施について
3. WWL事業調査研究について

【参考資料】

カリキュラム開発拠点校からの質問に対する回答

1. WWL(ワールド・ワイド・ラーニング)コンソーシアム 構築支援事業について

大臣懇談会報告書（平成30年6月5日）

第3章 新たな時代に向けた学びの変革、取り組むべき施策

「Society 5.0に向けた人材育成 ～社会が変わる、学びが変わる～」(Society 5.0に向けたリーディング・プロジェクト)

（3）文理分断からの脱却

①文理両方を学ぶ高大接続改革

今後中期的にこの10 年程度を見通し、第2章で述べたように、高等学校普通科において文系・理系に分断されている実態を改め、基本的に文理両方を学習した大学進学者の育成を目指す。具体的には、様々な学問分野において必要となる、データ・サイエンスの基礎となる確率・統計やプログラミング、理科と社会科の基礎的分野を必履修とする新しい高等学校学習指導要領を確実に習得させるとともに、微分方程式や線形代数・ベイズ統計、データマイニングなど、より高度の内容を学びたい高校生のための条件整備等を行い、文理両方を学ぶ人材を育成する。

AP（アドバンス・プレースメント）も含めた高度かつ多様な科目内容を、生徒個人の興味・関心・特性に応じて、履修可能とする高校生の学習プログラム/コースを「WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム」として創設する。高校生6万人あたり1か所を目安に、各都道府県で国公立高校等を拠点校として整備し、すべての高校生が選抜を経てオンライン・オフラインで参加可能とする。これにより、国内外のトップ大学等にも入学できるようなグローバル・イノベティブ人材を育成する。また、海外からのハイレベル人材を受け入れ、日本人高校生と留学生と一緒に英語での授業・探究活動等を履修することとする。

また、世界で活躍できるグローバル・リーダーを育てることを目的として、幅広い教養や問題発見・解決能力等の国際的素養を育成するなどの先進的な取組を行うとともに、地域におけるグローバル人材育成の拠点となるような高等学校を支援する。

「Society 5.0に
向けた人材育成
～社会が変わる、
学びが変わる～」

WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業 経緯（その2）

経緯（その2）：大臣懇談会報告書を踏まえた今後の方向性



趣旨

これまでの事業の在り方を見直し、事業目的と内容をより合致したものとするため、スーパーグローバルハイスクール（SGH）のアドバンスト型とリージョナル型の2つのカテゴリーに分類。これにより、求める事業成果を明確化するとともに、各事業成果を効果的に出すための指定の在り方を設定。

また、国を超えた結びつきの中でグローバルな社会課題を高いレベルで探究する力や、地域の中でそれぞれの特色に沿って探究する力を育成することが、Society 5.0の時代に一層重要となることから、そのような探究力の育成を目指すことを明確に設定。

「Society 5.0 に向けた人材育成」 大臣懇談会報告書（平成30年6月5日）

「WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム」における拠点校を目指した取組等を受け止めるためのリーディング・プロジェクトの一つ。

地域の良さを学びコミュニティを支える人材を育成するための「地域高校」の創設を受け止めるためのリーディング・プロジェクトの一つ。

①アドバンスト型

→WWLコンソーシアム構築支援事業

- ✓ グローバル人材のトップをさらに伸ばすことが目的。
- ✓ 世界で活躍できるイノベティブなグローバル人材を育成するための高度かつ先進的なカリキュラム研究開発が目的。

②リージョナル型

→地域との協働による高等学校教育改革推進事業

- ✓ グローバル人材の裾野を広げ、全体を伸ばすことが目的。
- ✓ グローバルな視点を持ってコミュニティを支える地域のリーダーを育成するための先進的なカリキュラム研究開発が目的。

◆ Society 5.0に向けた高等学校におけるグローバル人材育成

WWL(ワールド・ワイド・ラーニング)コンソーシアム構築支援事業

＜令和元（2019）年度～＞（指定期間：3年間）

事業概要 Society5.0をリードし、SDGsの達成を牽引するイノベティブなグローバル人材育成のリーディング・プロジェクトとして、国内外の高校・大学等との連携によるグローバルな課題解決に向けた探究的な学びや大学の先取り履修などのカリキュラム開発を実施。

WWLコンソーシアム 高校の枠を超えて、高校生に高度な学びを提供するALネットワークを全国50拠点程度配置し、WWLコンソーシアムを構築。

AL(アドバンスド・ラーニング)ネットワーク(イメージ図)

国際会議の開催等により、プロジェクトが効果的に機能するよう高校間のネットワークを形成。

カリキュラム開発拠点校（令和3年度時点）

国公立の高等学校等（28拠点校）



地域との協働による高等学校教育改革推進事業

＜令和元（2019）年度～＞（指定期間：3年間）

事業概要 地域を分厚く支える人材の育成に向けた教育改革を推進するため、高等学校が自治体、高等教育機関、産業界等との協働により、地域の課題解決に向けた探究的な学びのカリキュラム開発を実施し、地域振興の核となる高等学校の機能強化を図る。

コンソーシアム 高校生と地域課題のマッチングを効果的に行うためのコンソーシアムを構築

グローバル型（指定校24校）

- ◆ グローバルな視点を持ちコミュニティを支える**地域のリーダーを育成**する拠点校として、地域と協働した高校教育改革に取り組む。
- ◆ 高等学校等と都道府県や市町村、企業、国内外の大学等が連携し、高校生にグローバルな地域課題解決等を通じた探究的な学びを提供する仕組み（コンソーシアム、コーディネータの配置等）を構築し、成果を普及。



■ グローバル人材のトップをさらに伸ばす**アドバンスド型**。

✓ 大学等と連携し世界で活躍できるイノベティブなグローバル人材を育成。

■ グローバル人材の裾野を広げ、全体を伸ばす**リージョナル型**。

✓ グローバルな視点を持ってコミュニティを支える地域のリーダーを育成。

◆ スーパーグローバルハイスクール（SGH）＜平成26（2014）～令和2（2020）年度＞

事業概要

■ 急速なグローバル化を踏まえ、社会課題に対する関心と深い教養、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的要素を身に付け、将来、国際的に活躍できるグローバル・リーダーを育成するため、国際化を進める国内の大学、企業、国際機関等と連携して、様々な国際舞台で活躍できる人材の育成に取り組む高校をSGH校に指定して、質の高いカリキュラムの研究開発・実践を行う。（指定期間：5年間）

◆ 指定校数：123校

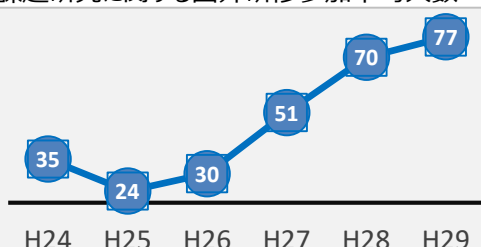
（国12校・公73校・私38校）

【主な取組】 ✓英語での討論・プレゼン、論文作成、探究学習、成果発表 ✓海外高校等と連携した海外研修

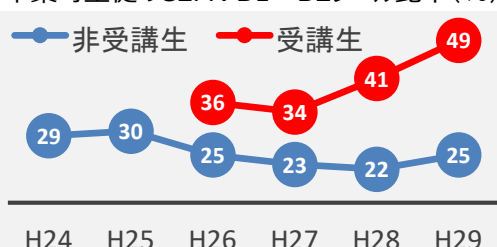
調査結果

（出典）SGH事業検証に関する有識者会議資料（H30.6）

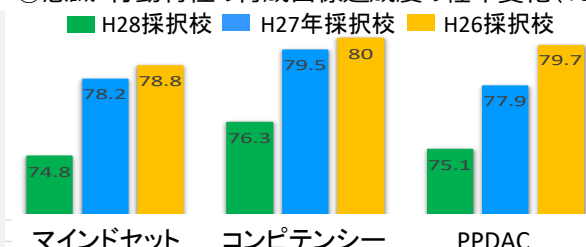
①課題研究に関する国外研修参加平均人数



②卒業時生徒のCEFR B1～B2レベル比率(%)



③意識・行動特性の育成目標達成度の経年変化(%)



成果と課題

- ①減少傾向にあった「課題研究に関する国外研修参加者数」は、SGHが開始されたH26年度から**着実に増加**。
- ②「SGH受講生の卒業時のCEFR B1～B2レベル」（英検2級～準1級程度）は、SGH開始時から**13ポイント向上**。
- ③SGH受講生の「**グローバルマインドセット**（意識特性）・**コンピテンシー**（行動特性）・**PPDAC**（探究行動）」は、いずれも**経年効果により着実に育成**。
- ④指定校のSGH活動でもっとも必要な案件は「**教師・スタッフの育成**」であり、**グローバル人材を育成する高校教師等の育成が課題**。



事業概要

Society5.0をリードし、SDGsの達成を牽引するイノベティブなグローバル人材育成のリーディング・プロジェクトとして、国内外の大学等との連携により文理横断的な知を結集し、社会課題の解決に向けた探究的な学びを通じた高校教育改革や大学の学びの先取り履修等を通じた高大接続改革を推進する。

- ◆ 高等学校等と国内外の大学、企業、国際機関等とが協働し、高校生が主体となり、海外をフィールドにグローバルな社会課題の解決に向けた探究的な学びを実現するカリキュラムを開発。
- ◆ これまで訪問できなかった国の高校生や大学生等とのオンライン海外フィールドワークなど、世界規模で生じた豊かなオンライン環境を駆使したカリキュラム開発。
- ◆ 大学等と連携した大学教育の先取り履修（カリキュラム開発）により、高度かつ多様な科目等の学習プログラム／コースを開発。
- ◆ 学習を希望する高校生へ高度な学びを提供するため、拠点校間及び関係機関との連携の上、個別最適な学習環境を構築。
- ◆ イノベティブなグローバル人材育成に関心のある高校がグローバルな課題探究成果を共有するためのミニフォーラムの開催。

AL（アドバンスト・ラーニング）ネットワーク イメージ図

ALネットワーク

海外フィールドワークや国際会議の開催等により、プロジェクトが効果的に機能するよう国内外の連携機関とのネットワークを形成

管理機関

高等学校と連携機関をつなぎ、カリキュラムを研究開発する人材（カリキュラム・アドバイザー）等の配置



WWLコンソーシアム

高校や国の枠を超えて、高校生に高度な学びを提供するAL（アドバンスト・ラーニング）ネットワークを形成した拠点校を全国に50校程度配置し、WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築へとつなげる。

対象校種

国公立の高等学校及び中高一貫教育校

委託先

管理機関（都道府県・市町村教育委員会、国公立大学法人、学校法人）等

箇所数
単価
期間

- カリキュラム開発：16拠点、**870万円程度**／拠点・年、原則**3年**
- 個別最適な学習環境の構築【拡充】：5拠点、**660万円程度**／拠点・年、原則**3年**

委託
対象経費

- カリキュラム開発に必要な経費（海外研修旅費、謝金、借損料、国際会議経費等）
- 個別最適な学習環境の構築に必要な経費（連携交渉旅費、謝金、ウェブサイト構築経費、委員会経費等）

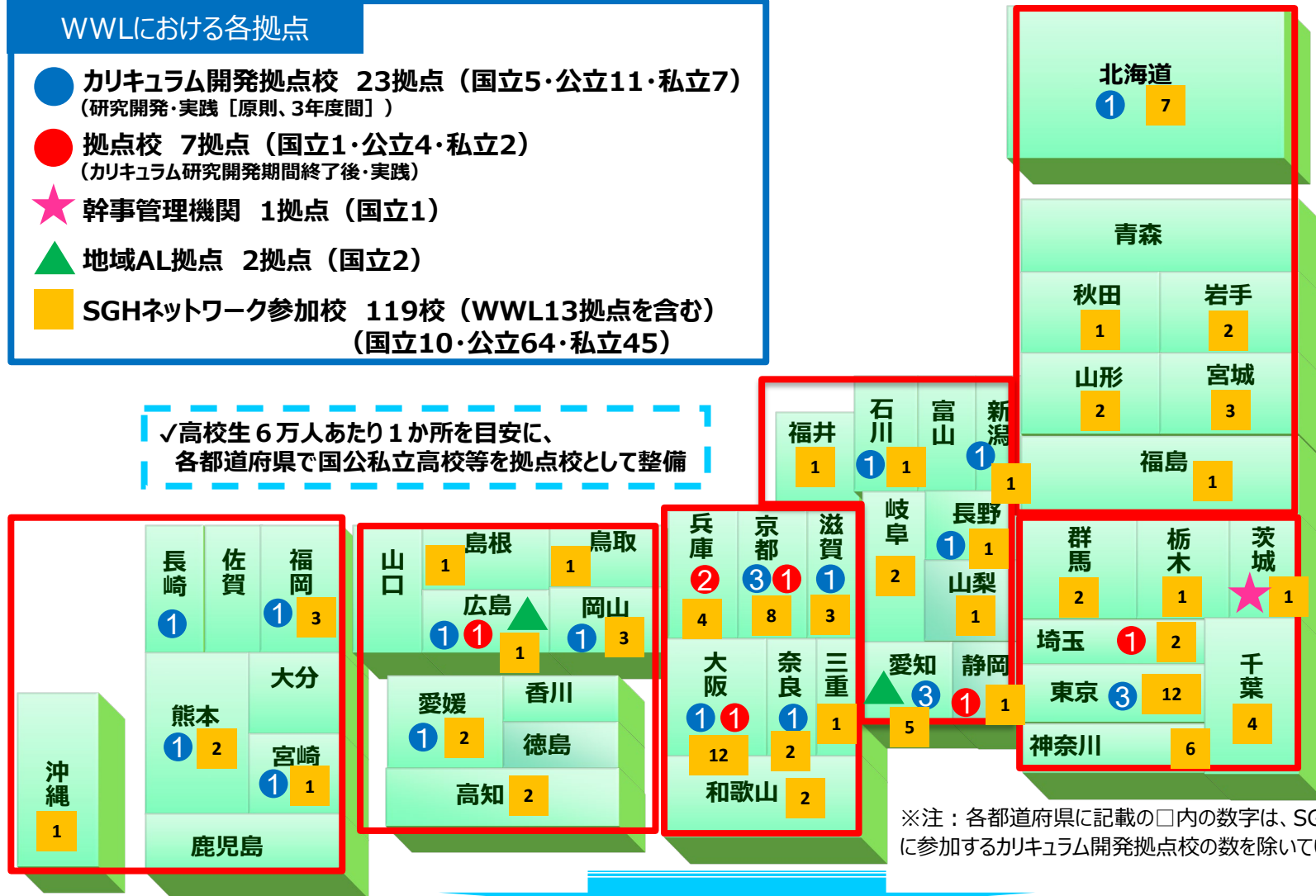
WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業

WWL事業における各拠点

WWLにおける各拠点

- **カリキュラム開発拠点校 23拠点**（国立5・公立11・私立7）
（研究開発・実践〔原則、3年度間〕）
- **拠点校 7拠点**（国立1・公立4・私立2）
（カリキュラム研究開発期間終了後・実践）
- ★ **幹事管理機関 1拠点**（国立1）
- ▲ **地域AL拠点 2拠点**（国立2）
- **SGHネットワーク参加校 119校**（WWL13拠点を含む）
（国立10・公立64・私立45）

✓高校生6万人あたり1か所を目安に、
各都道府県で国公立高校等を拠点校として整備



✓今後5年間ほどで拠点校を中心とした高度な学びを可能とするネットワーク（アドバンスド・ラーニング・ネットワーク）を形成した拠点校を全国に50校程度配置し、将来的にWWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアムへとつなげる

WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業

カリキュラム開発拠点校及び拠点校一覧



No.	都道府県	学校種	カリキュラム開発拠点校・拠点校	指定年度
1	北海道	私立	北海学園札幌高等学校	令和3年度
2	埼玉県	国立	筑波大学附属坂戸高等学校	令和元年度
3	東京都	公立	東京都立南多摩中等教育学校	令和元年度
4	東京都	私立	渋谷教育学園渋谷高等学校	令和元年度
5	東京都	私立	富士見丘高等学校	令和2年度
6	新潟県	公立	新潟県立三条高等学校	令和3年度
7	石川県	国立	金沢大学人間社会学域 学校教育学類附属高等学校	令和元年度
8	長野県	公立	長野県上田高等学校	令和2年度
9	静岡県	公立	静岡県立三島北高等学校	令和元年度
10	愛知県	国立	名古屋大学教育学部 附属中・高等学校	令和3年度
11	愛知県	公立	愛知県立千種高等学校	令和3年度
12	愛知県	私立	名古屋国際中学校・高等学校	令和4年度
13	滋賀県	公立	滋賀県立彦根東高等学校	令和4年度
14	京都府	公立	京都府立鳥羽高等学校	令和2年度
15	京都府	私立	立命館宇治高等学校	令和元年度
16	京都府	私立	同志社国際高等学校	令和2年度

No.	都道府県	学校種	カリキュラム開発拠点校・拠点校	指定年度
17	京都府	私立	京都先端科学大学附属中学校 高等学校	令和3年度
18	大阪府	国立	大阪教育大学附属高等学校 平野校舎	令和2年度
19	大阪府	公立	大阪府立北野高等学校	令和元年度
20	兵庫県	公立	神戸市立葺合高等学校	令和元年度
21	兵庫県	私立	関西学院高等部	令和元年度
22	奈良県	公立	奈良県立国際高等学校	令和3年度
23	岡山県	公立	岡山県立岡山操山中学校 ・高等学校	令和2年度
24	広島県	国立	広島大学附属福山中・高等学校	令和2年度
25	広島県	公立	広島県立広島国泰寺高等学校	令和元年度
26	愛媛県	国立	愛媛大学附属高等学校	令和2年度
27	福岡県	私立	中村学園女子高等学校	令和2年度
28	長崎県	公立	長崎県立長崎東中学校 ・長崎東高等学校	令和2年度
29	熊本県	公立	熊本県立熊本高等学校	令和2年度
30	宮崎県	公立	宮崎県立宮崎大宮高等学校	令和2年度

＜カリキュラム開発拠点校及び拠点校の内訳＞

国立：6校 公立：15校 私立：9校

カリキュラム開発拠点校

国の指定を受けて、カリキュラムを開発する高等学校等

拠点校 ※オレンジ網掛け

WWL事業の指定期間終了後に自走して取り組む高等学校等



WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業

カリキュラム開発拠点校一覧（その1）



WWLコンソーシアム構築支援事業 カリキュラム開発拠点校 一覧（1/3）（令和4年6月10日現在）

設置者 種別	所在地 都道府県	管理機関	カリキュラム 開発拠点校 * 1	構想名	取組内容	指定開始 年度	共同実施校 * 2	連携校 * 3		
		機関名	学校名				学校名（国内）	学校名（国外）		
私立	北海道	学校法人 北海学園※	北海学園札幌高等学校	文部科学省WWLコンソーシアム構築 支援事業Snow Crystal Project in HOKKAIDO	北海道全地域において、SDGsと国際理解の教育実践に取り組んでいる高校と海外の高校、大学、関連する機関を繋ぎ組織的・継続的に活動し、持続可能な世界の実現に向けて逞しく行動し、かつSociety5.0を牽引するグローバルリーダーを育成する。連携校の多様な視点と実践を積極的に活用するとともに、ICTを活用した教育にも継続的に取り組む。農業、食品ロス、民族及び領土問題、寒冷地における生活、外国人労働者（技能実習生）問題の解決等を生徒の探究課題とした。	R 3	—	北海高等学校（私立） 札幌日本大学高等学校（私立） 札幌聖心女子学院高等学校（私立） 北星学園女子高等学校（私立） 北海道旭川東高等学校 旭川大学高等学校（私立） 函館白百合学園高等学校（私立） 北海道帯広農業高等学校	北海道釧路明峰高等学校 北海道標茶高等学校 北海道根室高等学校 北海道白老東高等学校 北海道平取高等学校 稚内大谷高等学校（私立） 名古屋大学教育学部附属中・高等学校 札幌北斗高等学校（私立）	Concordia Middle & High School(基督教協同 高級中學) (台湾) /Wellington High School ニュージーランド)
公立	東京都	東京都 教育委員会	東京都立 南多摩中等教育学校	Diverse Link Tokyo Edu～ 社会・世界と協働した高度で創造的な 探究	社会課題（森林開発、資源枯渇、地域開発など）の発生している現場での「国際フィールドワーク」を取り入れた体系的な探究型カリキュラムを開発し、海外の人々と協働して社会的問題に取り組む、問題提起から解決に至る過程でリーダーシップ及びフォローアップを発揮できる人材を育成するシステムを構築する。さらに10年後、筑波大学の世界展開力を活用し、世界で活躍できるグローバル人材の育成システムを構築する。	R 1	東京都立白鷗高等学校・ 附属中学校	東京グローバル10指定校（公立） 知的探究イノベーター推進校（公立）		
私立	東京都	学校法人 渋谷教育学園	渋谷教育学園 渋谷高等学校	協働型探究学習による、SDGs達成 に向けた、環境・人権・女性・産業構造・AI等の課題を取りあげ、内容理解を担う次世代地球市民の育成	平和な社会のあり方とその構築課題について、教科横断的な学びを通じ、近現代が抱えるジレンマについての理解を深める。公民・英語・国語が連携して、環境・人権・女性・産業構造・AI等の課題を取りあげ、内容理解を進め、英語による発信の機会を設けるとともに、SDGsが策定された経緯を理解し、貧困、健康、ジェンダー、水問題、気候変動、イノベーション等をテーマとして、その要因について、教科の枠を超えて学ぶ。	R 1	—	渋谷教育学園幕張高等学校（私立） 清教学園高等学校（私立） 広島女学院高等学校（私立）		St.Stephens' Episcopal School（アメリカ合衆国） /Raffles Institution（シンガポール） /Loretto College（オーストラリア）
私立	東京都	学校法人 富士見丘学園	富士見丘高等学校	観光立国における海洋リゾート開発と環境汚染を考える人材育成	観光立国における海洋リゾート開発と環境汚染を考える人材育成 観光立国における海洋リゾート開発と環境汚染を考える人材育成					

WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業

カリキュラム開発拠点校一覧（その2）



文部科学省

WWLコンソーシアム構築支援事業 カリキュラム開発拠点校 一覧（2/3）（令和4年6月10日現在）

設置者 種別	所在地 府県	管理機関	カリキュラム 開発拠点校 * 1	構想名	取組内容	指定開始 年度	共同実施校 * 2	連携校 * 3		
		機関名						学校名	学校名（国内）	学校名（国外）
私立	愛知県	学校法人 栗本学園※	名古屋国際中学校・高等学校	ニューノーマル時代の地域創生を加速する高校生グレーター・ナゴヤ・プロジェクト	ニューノーマル時代に生きるイノベティブなグローバル人材を育成するため、「自らの地域課題の発見と解決に向けたアイデアの創出と実践」をテーマとし、生徒は、地域や国ごとの実践活動に対し、高度な専門的知識の習得や建設的な議論を行うために仮想空間「Meta-School」に参加し多様な学びを体験できる場を得る。その過程において、事業協働機関やスタートアップとの協働活動等により、イノベーション創出のための素養として必要なアントレプレナーシップを獲得する。	R 4	－	名古屋市立名東高等学校 奈良県立国際高等学校 高知県立高知西高等学校 国際高等学校（2022年9月開校予定）	Immaculate Conception School of Baliuag（フィリピン）／Juan Diego Catholic High School（アメリカ）／Lycée Georges Clemenceau（フランス）／UCSI International School（マレーシア）	
公立	滋賀県	滋賀県 教育委員会※	滋賀県立彦根東高等学校	「湖の国」滋賀が創出する次代を担う変革型グローバル・リーダー育成プログラム	琵琶湖を切り口としながら、環境保全、気候変動、経済発展、水資源開発、食糧、貧困、教育、保健・医療、社会福祉、エネルギー問題など、VUCAの時代に対応したグローバルな視点から諸課題の本質に迫り、探究的で高度な学習プログラムの開発・実践・検証を、国内外の連携校や大学、企業等と協働しながら進めるとともに、併せて、ICTの効果的な活用を通じて個別最適な学習環境の充実やラーニング・アナリティクス等の最先端の学術領域の知見から専門研究にも取り組む。	R 4	－	滋賀県立膳所高等学校 滋賀県立彦根高等学校 滋賀県立守山高等学校 滋賀県立水口東高等学校	滋賀県立高島高等学校 グローバル・インディアン・インターナショナル・スクール	DeWitt High School（アメリカ合衆国）／Perth Modern School（オーストラリア）／Ashdale Secondary College（オーストラリア）／湘潭市第一中学（中国）／The Shri Ram School（インド）
公立	京都府	京都府 教育委員会※	京都府立 鳥羽高等学校	未来を創る課題解決先進国の人材育成～京の智から地球の智へ～	大学教育の先取り履修やICT活用による遠隔教育などを通じて、歴史と伝統に育まれた「京の智・日本の智」と各国・各地域における「世界の智」を高度で先進的な学びや協働学習により「地球の智」へと高めることにより、設定したグローバルな社会課題「『豊かさ』の価値の再創造による持続的な未来社会の創出」に取り組み、Society 5.0において全国の自治体・高校等が活用できるイノベティブなグローバル人材を育成する京都モデル「ALネットワーク京都」を研究開発する。	R 2	京都府立福知山高等学校	京都府立山城高等学校 京都府立洛北高等学校 京都府立嵯峨野高等学校 京都府立洛西高等学校 京都府立桃山高等学校 京都府立西乙訓高等学校 京都府立東宇治高等学校 京都府立寛道高等学校 京都府立城南豊創高等学校	京都府立西城陽高等学校 京都府立南陽高等学校 京都府立園部高等学校 京都府立峰山高等学校 秋田県立秋田南高等学校 九里学園高等学校（私立） 千葉県立成田国際高等学校 沖縄県立那覇国際高等学校	ハンゴン高校（韓国）／上海市嘉定一中（中国）／西安交通大学附属中学（中国）／台中市立台中工業高級中等學校（台湾）／ヌヴェール高校（フランス）
私立	京都府	学校法人 同志社	同志社国際高等学校	国際共同研究を通じたグローバルな人材育成コンソーシアム構築	次代の「まち」を担う高校生達にとって、「まち」の抱える問題は、それぞれ地域ごとによって様相が異なる。また世界的には「まち」の問題に先進的な取り組みをしている都市がある。これらのさまざまな世界の取組を学び、「持続可能な都市の構築(SDGs #11 住み続けられる街)」を題材に、PBL型の探究学習を通してグローバルな人材育成をするプログラムを構築し、システム化することをこの事業で目指す。	R 2	－	京都聖母学院高等学校（私立） ノートルダム女学院高等学校（私立） 武蔵野大学附属千代田高等学校（私立） 武蔵野大学附属千代田高等学校（私立）	洛星高等学校（私立） 同志社高等学校（私立） 同志社香里高等学校（私立） 同志社女子高等学校（私立）	イゾルデ・クルツ・ギムナジウム（ドイツ）／梨花女子外国語高等学校（韓国）／エコール・ジャンヌ・マヌエル（フランス）／ヌエバ・アッパー・スクール（アメリカ）／ストックホルム日本人補習学校（スウェーデン）／プリンスストン日本語学校（アメリカ）
私立	京都府	学校法人永守学園※	京都先端科学大学附属中学校高等学校	世界協働のプラットフォーム同時双方向×高大連携×Nカ国×世界課題	21世紀のサバイバルスキルと英語運用能力に加え、高いデジタルリテラシーを有し、自ら課題を設定し、世界中の人々と協働して解決に導くことができる人材を育成する。そのため、事業関係機関と連携し、教科の枠組みを超えた高度で探究的な学びを実現する。デジタルツールを利用して、同時双方向に世界中の高校、大学と連携し、世界の社会課題の解決を目指すフレームワークを作り出し、世界中のすべての高校生、大学生に開かれた学びのプラットフォームに発展させる。	R 3	－	京都外大西高等学校（私立） 京都光華高等学校（私立） ノートルダム女学院中学校高等学校（私立） 洛星高等学校（私立） 京都両洋高等学校（私立） 姫路女学院高等学校（私立）	Enochs High School（アメリカ合衆国）／Beyer High School（アメリカ合衆国）／Gregori Joseph A. Gregori High School（アメリカ合衆国）／Ripon High School（アメリカ合衆国）／entral Valley High School（アメリカ合衆国）／Davis Senior High School（アメリカ合衆国）／Ceres High School（アメリカ合衆国）／Hughson High School（アメリカ合衆国）／Crested Crane Academy（ザンビア）／ope and Faith School（ザンビア）／Chichester College Group（イギリス）／Guildford College Group（イギリス）／East Sussex College（イギリス）／Sedu（フィンランド）／Istituto Istruzione Superiore Panzini Senigallia（イタリア）／tichting Curio Onderwijsgroep West-Brabant（オランダ）／Xabec（スペイン）／Saint Pedro Poveda College（フィリピン）／S. B. Patil Public School（インド）	
国立	大阪府	国立大学法人 大阪教育大学※	大阪教育大学 附属高等学校平野校舎	Society5.0に向かう生徒と教員のための「学びの共同体」の構築	Society 5.0で求められる力を基盤として、データサイエンスに基づいてSDGsの課題を理解し、その解決に向けてイノベティブに思考し、主体的に実践できるグローバル人材育成システムを開発する。「データサイエンス基礎」等の科目を新設し、「グローバル探究」では新たなプログラムや既存科目との有機的連携により、生徒の資質・能力等の育成を目指す。さらに、これまでの教育効果をデータサイエンスを活用し検証する。	R 2	大阪教育大学 附属高等学校 池田校舎	大阪教育大学附属高等学校 天王寺校舎 大阪教育大学附属特別支援学校 神戸大学附属中等教育学校 奈良女子大学附属中等教育学校 京都教育大学附属高等学校	大阪府立千里高等学校 大阪府立住吉高等学校 大阪府立泉北高等学校 和歌山県立星陵高等学校 沖縄県立那覇国際高等学校 大阪市立水都国際中学校・高等学校 金光学園高等学校（私立）	高雄師範大学附属高級中学（台湾）／トリウムウドムスクス高校（タイ）／ヘイスティングス・ガールズ高校（ニュージーランド）／清洲外国語高校（韓国）／日本国際高校（ベトナム）
公立	奈良県	奈良県 教育委員会※	奈良県立高等学校	最古の国際都市奈良から発信～持続可能な社会に向けて～	SDGs等の地球規模の課題解決に向けて探究的な活動を行う先進的なカリキュラムの研究・開発を行う。また、国内外の大学・企業・国際機関等が協働して、世界へと視野を広げたイノベティブなグローバル人材を育成するためのALネットワークを構築する。様々な事業連携機関や留学生等の多様な背景や考え、価値観を持つ人々との協働を通して、高度な学びや探究活動の機会を提供し、ポスト・コロナの社会においても必要とされる、自ら考え、主体的に行動し、責任をもって社会変革を実現していく力を備えたグローバル・リーダーを育成する。	R 3	－	奈良県立奈良高等学校 奈良県立欽徳高等学校 奈良県立青翔高等学校 奈良県立法隆寺国際高等学校	奈良県立高取国際高等学校 国立大学法人奈良女子大学附属中等教育学校 奈良学園登美ヶ丘高等学校（私立）	Aquinas College（オーストラリア）／Gymnasium Ernestinum Rinteln（ドイツ）
公立	岡山県	岡山県 教育委員会※	岡山県立 岡山操山中学校・高等学校	未来の岡山と世界のWell-beingの実現に貢献するグローバル・リーダーの育成	高校生の中で、自ら行動を起こし、社会に主体的に関わりようとする意識の高まりに加え、医療・福祉の先進的な取組や充実した環境をもつ岡山県の強みを生かし、全ての人が身体的、精神的、社会的に幸福「Well-being」な社会の実現を課題として設定する。様々な機関と連携して、高度な学びや探究活動の機会を提供し、ポスト・コロナの社会においても必要とされる、自ら考え、主体的に行動し、責任をもって社会変革を実現していく力を備えたグローバル・リーダーを育成する。	R 2	－	岡山県立岡山一宮高等学校 岡山県立岡山城東高等学校 岡山県立岡山工業高等学校 岡山県立倉敷天城中学校・高等学校（公立）	岡山県立倉敷中央高等学校 岡山県立玉島高等学校 岡山県立津山中学校・高等学校 岡山県立気楽台高等学校 岡山県立岡山大安寺中等教育学校	Sacred Heart College高校（オーストラリア）

WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業

カリキュラム開発拠点校一覧（その3）



文部科学省

WWLコンソーシアム構築支援事業 カリキュラム開発拠点校 一覧（3/3）（令和4年6月10日現在）

設置者 種別	所在地 府県	管理機関 機関名	カリキュラム 開発拠点校 ※ 1	構想名	取組内容	指定開始 年度	共同実施校 ※ 2	連携校 ※ 3		
			学校名					学校名	学校名（国内）	学校名（国外）
国立	広島県	国立大学法人 広島大学※	広島大学 附属福山中・高等学校	西日本をつなぐグローバルリーダー 育成イニシアティブ	中国・九州地区の連携校等による西日本をつなぐALネットワークを構築し「リスクコミュニケーション」に基づく創造性の醸成を課題研究のねらいの性とした、平和、環境、自然災害、交通、貧困などのリスクに関連する議論に適した課題を、広島大学のリソースを活用し、国際機関等との連携の中でディスカッションを通して解決する経験を通して、地域に根ざしたグローバルな視点からのイノベーションを生み出して世界に貢献するグローバルリーダーを育成する。	R 2	－	広島大学附属高等学校 鹿児島県立甲南高等学校 宮崎県立宮崎大宮高等学校 大分県立大分上野丘高等学校	福岡県立小倉高等学校 広島県立舟入高等学校 広島県立福山誠之館高等学校 福山市立福山高等学校	
国立	愛媛県	国立大学法人 愛媛大学※	愛媛大学 附属高等学校	高大連携の国際化を通じたSDGsグ ローバル人材の育成	SDGsが掲げるテーマを中心に、新しい価値を創造し、自律した自覚を持って世界の架け橋となることのできるグローバル人材の育成を目指す、新しい高大接続モデルを開発、検証する。高大連携を国際化させ、「文理融合型」の高度で先進的な教育内容の開発。「二重単位履修科目の設定と実施」「系統的で深まりのある課題研究」を継続し、ICTを活用した国際附属高校ネットワークや高校版サテライトオフィスの整備等の推進による国際協働体制を整備し、海外留学等を促進する。	R 2	－	愛媛県立松山中央高等学校 愛媛県立西条高等学校 京都学園中学高等学校（私立）		University of the Philippines Integrated School（フィリピン）／College National Ion Creanga（ルーマニア）／St Andrews Lutheran College（オーストラリア）／義守大学附属国際高校（台湾）／Bella Vista High School（アメリカ）
私立	福岡県	学校法人 中村学園※	中村学園女子高等学校	「食」の課題解決により持続可能な 社会を創出するイノベーターの育成	地球規模の課題「食」に関わる4領域（社会文化・環境・経済・栄養）及びSDGsのターゲットとして、広く生徒たちに高度な学びの機会を提供しより多くのイノベティブなグローバル人材を育成する。文理融合型のカリキュラムやイノベーションスキルの育成法・評価法、留学生との協働を最優先する実践プログラム、大学教育の先取り履修による高度な学びのためのスタンダードモデルを開発し、「食」を切り口として新しい価値を創造し、グローバル・イノベーターを育成する。	R 2	－	中村学園三陽中学校・高等学校（私立） 京都学園中学・高等学校（私立） 高知県立高知西高等学校		SMK Sultan Ibrahim Girls School（マレーシア）／84th School（モンゴル）／Academic of Lyceum Westminster International University in Tashkent（ウズベキスタン）／中華人民共和国 信男教育学園高等学校（中国）
公立	長崎県	長崎県 教育委員会※	長崎県立長崎東中学校・ 長崎東高等学校	「世界の平和と共生」に貢献するイ ノベティブなグローバル人材の育 成	崎の教育資源を活用し、予測困難な時代において複数の視点や学問分野を融合させて様々な社会課題に取り組む。また、拠点校等の生徒が定期的に大学を訪れ高度な学びに取り組むことが可能となるシステムの確立や、企業・NPO等との協働、中国、オランダ等でのフィールドワーク、WEB会議等を活用した離島や海外の学校との共同研究等を行う。成果の共有・普及を図るため、拠点校が九州のSGHをリードする形で開催した「九州SGHフォーラム」を発展させる。	R 2	－	長崎県立長崎西高等学校 長崎県立長崎南高等学校 長崎県立大村高等学校 長崎県立諫早高等学校・附属中学校 長崎県立佐世保北中学校・ 佐世保北高等学校	長崎県立対馬高等学校 長崎県立杵杵高等学校 広島県立舟入高等学校 広島女学院中学高等学校（私立） 静岡県立三島北高等学校 立命館宇治中学校・高等学校（私立）	SMK Taman Tun Aminah（マレーシア）／Visser't Hooft Lyceum（オランダ）／Tamanawis Secondary School（カナダ）
公立	熊本県	熊本県 教育委員会	熊本県立 熊本高等学校	イノベティブなグローバル人材を 育成する「くまもとALネットワ ーク（KAN）」の構築	SDGsにおける課題への理解を深め、課題の中から手がかりを発見し、社会や生活を変革するようなイノベーションを実現できるグローバル人材の育成を目指す、国内外の大学等と連携して、課題解決に向けた探究活動と英語による課題発見・解決型の教科横断的な学びによるSTEAM教育の実践を図る。海外研修や国際会議の機会に研究成果を広く発信することによって、SDGsにおける課題に対して当事者意識を喚起し、解決に向けてリーダーシップを発揮する人材を育成する。	R 2	－	熊本県立清々覺高等学校 熊本県立水俣高等学校 熊本県立第二高等学校 熊本県立熊本北高等学校 熊本県立宇土中学校・宇土高等学校 熊本県立天草高等学校 福岡県立東筑高等学校 佐賀県立佐賀西高等学校 長崎県立長崎西高等学校	大分県立大分上野丘高等学校 宮崎県立宮崎西高等学校 鹿児島県立鶴丸高等学校 学校法人東邦大学駒場東邦中学校・高等学校（私立） 学校法人東海学園東海中学校・ 東海高等学校（私立） 兵庫県立太子高等学校	台湾国立中科實驗高級中學（台湾）
公立	宮崎県	宮崎県 教育委員会※	宮崎県立 宮崎大宮高等学校	「食」を通じてゆたかな世界を協創 するイノベーターの育成	「食」を通じてゆたかな世界を協創するイノベーターの育成のため、イノベティブな課題解決策を構想・設計する能力、高度かつ学際的な知識に基づく課題の理解や解決策を提案する能力及び多様な人々と課題解決に向けて協創する能力を、多様な人々と協働しながら、創造的な解決方法を提案する力（協創力）へ発展させる先進的なカリキュラムを持続可能なものとするための体制整備をし、国内外の大学等が協働して高度な学びを提供するプログラムをダイナミックに展開する。	R 2	－	宮崎県立宮崎北高等学校 宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校 宮崎県立宮崎南高等学校 宮崎県立宮崎海洋高等学校 宮崎県立宮崎西高等学校 宮崎県立都城ヶ丘高等学校 宮崎県立飯野高等学校	宮崎県立高鍋高等学校 宮崎県立高鍋農業高等学校 宮崎県立延岡高等学校 宮崎県立日向高等学校 学校法人立命館立命館宇治中学校・高等学校（私立） 広島大学附属福山高等学校	高雄市立高雄高級中學（台湾）／カオ・バ・クワット高等学校（ベトナム）／ベトナム国家教育大学附属グエン・タツ・ティン中学高等学校（ベトナム）

* 1 本事業に参加する高等学校等（中等教育学校、併設型及び連携型中学校・高等学校を含む）のうち、「カリキュラム開発拠点校」として文部科学大臣が指定する高等学校等。

* 2 本事業に参加する高等学校等のうち、拠点校と設置者が同じであり、拠点校のカリキュラム開発を共同で取り組む高等学校等。

* 3 本事業に参加する高等学校等と連携して取り組む国内外の高等学校等（中等教育学校、併設型及び連携型中学校・高等学校のほか、在外教育施設やインターナショナルスクール等も含む）。学校名等は、申請時におけるもの。（ ）内は、国内については設置者種別、海外については国名・地域で表記。

注）管理機関欄の※印は本事業の委託先管理機関。（左記以外の管理機関は、国の予算の都合上委託先とはならないものの「カリキュラム開発拠点校」として研究開発や実践、高度な学びを提供する仕組みの構築等に取り組む。）

WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業

拠点校一覧



文部科学省

WWLコンソーシアム構築支援事業 拠点校 一覧（令和4年6月10日現在）

設置者 種別	所在地 都道府県	管理機関	拠点校＊1	構想名	取組内容	カリキュ ラム開発 拠点校指 定年度	共同実施校＊2	連携校＊3		
		機関名	学校名				学校名	学校名（国内）	学校名（国外）	
国立	埼玉県	国立大学法人筑波大学※※	筑波大学 附属坂戸高等学校		次世代のグローバル人材育成のため、社会課題の発生している現場での「国際フィールドワーク」を通じて持続可能な国際社会を創る人材育成システムの構築	R1～3	—	筑波大学附属高等学校 筑波大学附属駒場高等学校 筑波大学附属視覚特別支援学校 高等部 筑波大学附属聴覚特別支援学校 高等部	筑波大学附属桐が丘特別支援学校 高等部 東京学芸大学 附属国際中等教育学校 お茶の水女子大学附属高等学校 中部大学春日丘高等学校（私立）	ポゴール農科大学コルニタ高校（インドネシア）／ インドネシア環境林業省附属林業高等学校（インドネシア）／カセサート大学附属高等学校（タイ）／ フィリピン大学附属ルーラル高等学校（フィリピン）
公立	静岡県	静岡県 教育委員会	静岡県立 三島北高等学校		ふじのくにアドバンス・ラーニング・コンソーシアムの構築	R1～3	—	静岡県立静岡高等学校 静岡県立沼津東高等学校	静岡市立高等学校 宮城県仙台市二華中学校・高等学校 長崎県立長崎東高等学校	
私立	京都府	学校法人 立命館	立命館宇治高等学校		イノベティブなグローバル人材育成を目指す 教育システムの開発	R1～3	—	市川高等学校（私立） 聖光学院高等学校（私立） 青翔閣高等学校（私立） 福岡雙葉高等学校（私立） 東明館高等学校（私立） 立命工業高等専門学校 愛媛県立三崎高等学校	宮崎県立宮崎大宮高等学校 宮崎県立飯野高等学校 長崎県立長崎東高等学校 立命館高等学校（私立） 立命館慶祥高等学校（私立） 立命館守山高等学校（私立）	中山大学附属國光高級中学（台湾）／ KASETSART UNIVERSITY LABORATORY SCHOOL（タイ）／Philippine Science High School System（フィリピン）／Sekolah Menengah Kebangsaan（Perempuan）Sri Aman（マレーシア）／ 高雄市三信高級家事職業学校（台湾）／メキシコ学院メキシココース（メキシコ）
公立	大阪府	大阪府 教育委員会	大阪府立 北野高等学校		いのち輝く未来を創造するイノベティブなグローバル人材育成	R1～3	—	大阪府立大手前高等学校 大阪府立高津高等学校 大阪府立天王寺高等学校 大阪府立豊中高等学校 大阪府立茨木高等学校	大阪府立四條畷高等学校 大阪府立生野高等学校 大阪府立三国丘高等学校 大阪府立岸和田高等学校	Crookwell High School（オーストラリア）／建国高級 中学（台湾）／SMK Convent Kajang（マレーシア）
公立	兵庫県	神戸市 教育委員会	神戸市立 葦合高等学校		Society 5.2の世界を見据える超未来型 グローバルリーダーの育成	R1～3	—	神戸市立科学技術 高等学校 神戸市立神港橋 高等学校 神戸市立六甲アイランド高等学校 神戸市立須磨翔鳳 高等学校	横浜市立横浜サイエンスフロンティア 高等学校 神戸市立六甲アイランド 高等学校 カナディアンアカデミー（私立）	台中市立台中第一高級中学校（台湾）／FENIX高 校（スウェーデン）／Westbourne Grammar School （オーストラリア）／Samnamish High School（アメリ カ合衆国）／アテネオ デ・マニラ高校（フィリピン）／ Groove Academy グローブアカデミー（スコットランド） ／Glenca Public School ゴエンカ高校（インド）
私立	兵庫県	学校法人 関西学院	関西学院高等部		“AI活用for SDGs” “地球と人類に貢献する平和構築のた めの学び”	R1～3	—	京都教育大学附属高等学校 京都市立西京高等学校 大阪教育大学附属高等学校 池田校舎 大阪府立千里高等学校 高槻中学校・高等学校（私立） 清風南海高等学校（私立） 関西学院千里国際高等部（私立） 兵庫県立神戸高等学校 兵庫県立長田高等学校 西宮市立西宮高等学校	兵庫県立篠山鳳鳴高等学校 兵庫県立加古川東高等学校 兵庫県立姫路西高等学校 兵庫県立八鹿高等学校 兵庫県立洲本高等学校 兵庫県立北摂三田高等学校 兵庫県立国際高等学校 白旗高等学校（私立） 奈良県立敏達高等学校 広島女学院中学高等学校（私立）	
公立	広島県	広島県 教育委員会	広島県立 広島国泰寺高等学校		「平和」をグローバルな社会課題と設定し取組を進める。様々な学科、コースなど 特色のある公立学校7校でネットワークを形成し、より高度で多様な学びを、 広島大学、県立広島大学との連携によって提供していく。各学校で実施される 総合的な探究の時間を中心に、各学校で設定した特色ある新科目の学習や 様々な学校の生徒が協働で探究するプロジェクト学習等の取組を通して、イノ ベティブなグローバル人材の育成を目指す。	R1～3	—	広島県立広島観智 学園中学校・広島 観智学園高等学校 広島県立呉三津田高等学校 広島県立福山誠之館高等学校 広島県立西条農業高等学校	広島県立広島中学校・広島高等学校 広島大学附属福山中・高等学校	

＊1 本事業に参加する高等学校等（中等教育学校、併設型及び連携型中学校・高等学校を含む）のうち、「カリキュラム開発拠点校」としての研究開発期間終了後に「拠点校」として本事業に取り組む高等学校等。

＊2 本事業に参加する高等学校等のうち、拠点校と設置者が同じであり、拠点校のカリキュラム開発を共同で取り組む高等学校等。

＊3 本事業に参加する高等学校等と連携して取り組む国内外の高等学校等（中等教育学校、併設型及び連携型中学校・高等学校のほか、在外教育施設やインターナショナルスクール等も含む）。

学校名等は、カリキュラム開発拠点校として活動していた時のもの。（ ）内は、国内については設置者種別、海外については国名・地域で表記。

注）管理機関欄の※※印は、事業全体の情報共有や成果普及等を図るための取組を行う「幹事管理機関」。

目的

高等学校等における国際理解教育及び外国語教育の水準のさらなる維持向上を図るため、SGH等の**イノベティブなグローバル人材育成を实践する事業の成果を踏まえ、継続的発展的に取り組む高等学校等**を対象としたネットワークを構築し、文部科学省主催の全国高校生フォーラム及びグローバル人材育成全国連絡協議会への参加等、全国的な取組に継続的に参画することを通じて、**SGH等の成果普及**と持続可能な**グローバル人材育成のネットワークづくり**を推進する。

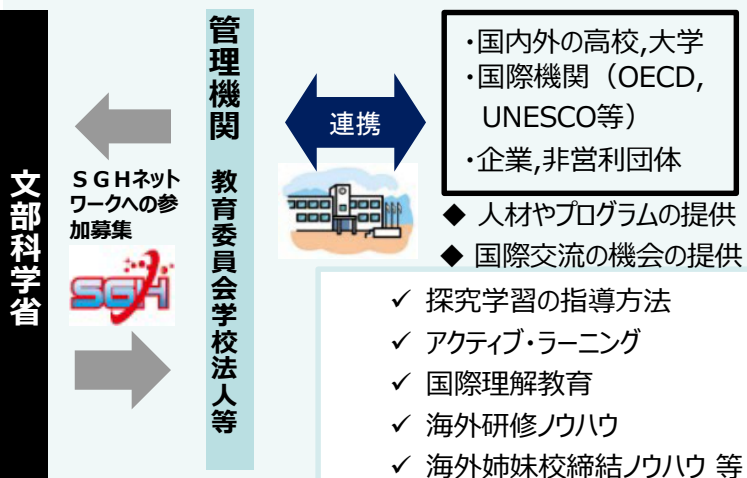
SGH ネットワークへの参加要件

◆ 対象学校：SGH指定校、SGHアソシエイトとなった高等学校、又は研究開発期間を終了した地域協働による高等学校教育改革推進事業（以下「地域協働事業」という。）（グローバル型）指定校等のうち、「SGHネットワーク参加に関する規定」に掲げる参加要件を満たす取組を実施し、文部科学省主催の全国高校生フォーラム及びグローバル人材育成全国連絡協議会への参加等、全国的な取組に継続的に参画することを希望する高等学校等（国公立高等学校及び中高一貫教育校（中等教育学校、併設型及び連携型中・高））

◆ 参加校（令和4年度）：119校
（国立10校、公立64校、私立45校）

要件

- ✓ グローバル人材像を設定し、当該人材像を踏まえ、卒業時に生徒が身に付けることのできる資質・能力を具体的かつ明確に定め、公表していること
- ✓ グローバル人材育成に資する課題研究又は先進的な課題研究等の実績を踏まえた、グローバル人材育成に資する発展的な実践に取り組む教育課程等を編成していること
- ✓ 国内外の高校・大学・国際機関等との連携により、より実践的で高度な学習活動が行われていること
- ✓ グループワーク、ディスカッション、論文作成、プレゼンテーション、プロジェクト型学習等の手法が、外国語によるものも含め、生徒の主体的な学びを促すものとして効果的に取り入れられていること
- ✓ 一定期間ごとに、本取組に関する自己評価・学校関係者評価を実施すること



文部科学省主催

- ◆ 全国高校生フォーラム（例年12月開催）への参加
- ◆ グローバル人材育成全国連絡協議会への参加等
- ※ SGHロゴマークの使用も可

★SGH等の事業を通じて、全国の高等学校に形成されたグローバル人材育成プログラムの内容と運営の経験知、国内外のネットワーク等、**有形無形のリソースを共有**し、魅力的な教育課程の充実や国際的なつながりの拡大など、**イノベティブなグローバル人材育成を实践する事業の取組のさらなる質的・量的な発展を目指す。**

2. 今年度の事業予定及び今後の事業実施について

今年度の事業予定について

令和4年7月1日（金） **令和4年度連絡協議会（本日）**

12月後半

全国高校生フォーラム 開催予定

（開催日程と開催方式に関しては検討中、筑波大学（本事業幹事管理機関）
・文部科学省共催）

※開催日程と開催方式は8月末までに決定予定。

フォーラムの詳細は追って連絡予定。

令和5年1月～2月下旬 **令和5年度事業実施計画書提出（継続指定分）**

3月31日（金） **令和4年度事業完了報告書 提出〆切 ※厳守**

4月 **令和5年度事業委託契約締結（継続指定分）**

◆今年度の事業計画の変更について

【新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた計画変更】

新型コロナウイルス感染症の影響により国内・海外研修をやむを得ず中止するなど、予定している計画を変更する必要がある場合には、変更後の研究開発の内容について、変更前に予定していた研究開発の内容と同程度の成果が期待できるものとなるよう、適切な配慮をお願いいたします。

【高校生国際会議の扱い】

本事業では、国内外の高校との連携によるテーマに関連した高校生国際会議等を事業終了までに行うことを要件としていますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、高校生国際会議が当初の予定通り実施できず、当該要件を達成できない場合も考えられます。

その場合、設置者や学校等の判断により、ICTを活用した会議に開催方法を変更することや、高校生国際会議の開催時期を変更することにより達成することが考えられます。いずれにしても、高校生国際会議の開催方法又は開催時期の変更等につきましては、随時、事業担当までご相談ください。

【海外の連携校等への短期・長期留学や海外研修の扱い】

海外の連携校等への短期・長期留学や海外研修をカリキュラムの中に体系的に位置付けることとしています。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、年度内の実施が難しいことも考えられます。

このため、短期・長期留学や海外研修等を教育課程に位置づけることが困難である場合において、ICT等を活用した工夫した取組により短期・長期留学や海外研修と同程度の成果が期待できる場合等においては、委託期間における実施を可能としますので、事業担当までご相談ください。

【次年度以降を見通した教育課程の編成】

新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度計画している学習内容を翌年度以降へ変更することも考えられますが、次の事項に十分留意してください。

- ◆ 今年度の委託費は、今年度の契約期間内に支払義務が生じているものが対象となること。
- ◆ 計画を変更する場合であっても、本事業の委託期間の変更を行うものではないこと。

◆令和４年度がWWL事業の指定最終年度となるカリキュラム開発拠点校への対応について

新型コロナウイルス感染症の影響により、各事業拠点校においては、海外研修から国内研修への変更や、高校生国際会議の開催準備の計画変更など、当初構想していた研究開発計画からの大幅な変更が余儀なくされ、特に今年度が本事業の指定最終年度となる事業拠点校においては、当初構想していた研究開発計画を確実に達成できるかどうか、現時点では不透明な状況です。

このような状況に鑑み、**今年度が本事業の指定最終年度となる事業拠点校が、当初構想していた研究開発計画を実現するために、本事業としての取組を継続して行うことを希望する場合は、研究開発期間の１年間延長（※）を認めることとします。**

（※）【留意事項】

- 研究開発期間の１年間延長が認められた事業拠点校は、その間において、**教育課程の特例を活用することが認められますが、延長に係る予算及び公立高等学校の教職員定数については、措置されないことを前提に御検討ください。**
- 研究開発期間の１年間延長希望については、７月に照会し、希望した拠点校については、１年延長を認める予定です。詳細の手続きについては、**１年間延長に係る計画概要資料を求める予定です**が、時期については別途連絡します。
- 研究開発期間の１年間延長を希望しない場合等において、引き続き教育課程の特例を活用してカリキュラム開発を希望する場合は、教育課程特例校制度に申請等する必要があります。（例年８月末締切ですが、詳細は担当の文部科学省初等中等教育局教育課程課教育課程企画室企画係へお問い合わせください。）

令和4年度WWLコンソーシアム構築支援事業の主な内容



カリキュラム開発

【カリキュラム開発拠点校23拠点・拠点校7拠点】

- カリキュラム開発拠点校を中心にした、国内外の高校や大学等と連携したALネットワークの構築
- グローバルな社会課題の解決に向けた探究的な学びを実現するカリキュラムを開発
- 大学等と連携した大学教育の先取り履修
- 研究開発期間終了後は、「カリキュラム開発拠点校」は終了し、教育課程の特例の活用は出来なくなるものの、引き続きWWL事業の「拠点校」として、①WWLロゴマークの使用及び②例年開催の連絡協議会（6月）や全国高校生フォーラム（12月）への参加が可能。



調査研究

- WWL事業の評価・検証（R3～5：㈱リベルタス・コンサルティング）

WWL C 構築・自走

- 全国拠点機関をはじめ、地域拠点としての地域AL機関を設置
【全国拠点機関】1拠点（R1～4：筑波大学）
【地域AL機関】2拠点（R3～5：名古屋大学、広島大学）※R4には拠点追加予定
※各カリキュラム開発拠点校を中心とするALネットワークは、最終的にはいずれかの地域AL拠点に参加いただくこととなります。

【地域AL拠点参加の際の協力事項】

- ・ALネットワークでの取組・成果物に係る情報の地域ALネットワーク取りまとめ機関への提供
- ・地域ALネットワーク取りまとめ機関が主催する、各高校におけるイノベティブなグローバル人材育成に係る取組の情報共有とその成果発信のためのフォーラムへの参加

R4新規

個別最適な学習環境の構築

- WWL事業をはじめ、高等学校において開発・実践されている高度な学びをデジタルコンテンツ化するなど、全国の高校生が、個人の興味・特性等に応じた学習プログラム/コースをオンラインで学習することができるような仕組みの開発を推進し、WWLコンソーシアムの構築を促進する。
⇒7月に公募予定（R4：5拠点予定）

●【具体的な取組内容】

- ①デジタルコンテンツを活用したオンデマンド配信方式の開発
- ②オンラインによる同時双方向型の合同授業の実施方法の開発
- ③大学教育の先取り履修に資するコンテンツ提供方法の開発
- ①～③のいずれかの教育手法を開発し、実践（複合的に組み合わせ実践することも可）



【全国拠点機関の主な役割】

- ・連絡協議会及び全国高校生フォーラムの主催・実施計画
- ・成果等に係るホームページ等による公表
- ・地域AL拠点機関との連携・情報集約

【地域AL機関の主な役割】

- ・全国拠点機関との連携
- ・域内ALネットワークの統括・情報集約
- ・域内でイノベティブなグローバル教育に取り組む学校等との連携促進

WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業 個別最適な学習の構築のための委託事業

事業概要

現在、高等学校等においては、イノベティブなグローバル人材の育成に資する文理横断的な高度かつ多様な科目等の学習プログラムを開発し、例えば、WWL事業におけるALネットワークなど、連携する学校等間において、当該プログラムを活用した質の高い教育が実践されている。今後、これらの高度な学びをデジタルコンテンツ化するなど、全国の高校生が、個人の興味・特性等に応じた学習プログラム/コースをオンラインで学習することができるような仕組みの開発を推進し、もってWWLコンソーシアムの構築を促進する。

【具体的な取組内容】

- ① デジタルコンテンツを活用したオンデマンド配信方式の開発
- ② オンラインによる同時双方向型の合同授業の実施方法の開発
- ③ 大学教育の先取り履修に資するコンテンツ提供方法の開発

①～③のいずれかの教育手法を開発し、実践
(複合的に組み合わせて実践することも可)

① デジタルコンテンツを活用したオンデマンド配信

高等学校等において開発・実践している学習プログラムを、EdTechなどのシステムにおいて活用可能なデジタルコンテンツとし、オンデマンド型で配信。自校の生徒だけではなく、他校の高校生もアクセス可能とし、振り返り学習やより深い学びを享受するための機会を提供する。



② オンラインによる同時双方向型の合同授業

カリキュラム開発・実践している高等学校等が、その授業をオンラインを用いて、他の高等学校等に在籍する高校生との同時双方向型の合同授業の実施のための環境を整備。開講されていない教科・科目等の学びの機会を、また、免許外教員が担当する教科等の深い学びの機会を提供する。



③ 大学教育の先取り履修に資するコンテンツ提供

高等学校と連携している大学等において、課題解決型プログラムとして大学の講座をオンラインコンテンツ化し、EdTech等を活用して提供する仕組みを構築。全国の高等学校等に在籍する高校生に対して、大学教育の先取り履修として学びの機会を提供する。



対象
校種

国公立の高等学校及び中高一貫教育校

委託先

都道府県・市町村教育委員会、
国公立大学法人、学校法人等

箇所数
単価
期間

5拠点

650万円／拠点・年、原則3年

委託
対象経費

コンテンツ開発料、オンライン授業のための
設備備品費等（デジタル教科書含む）

◆ロゴマークの活用について

Society5.0をリードし、SDGs達成を牽引するグローバル人材育成のリーディングプロジェクトである「WWL(ワールド・ワイド・ラーニング)コンソーシアム構築支援事業」(以下「本事業」という。)について、更なる推進のためにWWLロゴマークを作成しています。

※文部科学省及びWWL参加校(カリキュラム開発拠点校、共同実施校、連携校)以外は、原則としてWWLロゴマークを使用することはできません。

【補足】

- ロゴマークについては、**WWL事業の研究開発成果の普及**の観点から、カリキュラム開発拠点校におけるWWL専用HPや海外研修、高校生国際会議でのパンフレット・リーフレット上だけでなく、カリキュラム開発した際に作成した教材や指導方法ツール、評価ツールにも、ロゴを使用し、高校段階でのイノベティブなグローバル人材育成に関心のある高校等と共有ください。



3. WW L 事業調査研究について

【委託先】

<https://www.libertas.co.jp/company/>

株式会社リベルタス・コンサルティング

所在地： 本店 東京都千代田区六番町2-14 東越六番町ビル 2階



設立年月日	平成17(2005)年7月29日
資本金	4,750万円
取引銀行	三菱UFJ銀行 麹町支店
決算期	6月
役員	代表取締役社長 植本 栄介 専務取締役 上條 太郎 取締役相談役 石山 盛也
役職員数	25名 うち役員3名(社外取締役および監査役を除く) 全グループ役職員数 39名

事業名

WWL(ワールド・ワイド・ラーニング)コンソーシアム構築支援事業におけるEBPMに向けたデータ収集・分析、効果検証等のための調査研究

目的

WWLコンソーシアム構築支援事業の各カリキュラム開発拠点校の管理機関内に設置されたALネットワーク運営組織における政策効果検証(測定)と評価、その成果の普及を行うとともに、併せて、成果効果の測定に重要な関連を持つ情報や統計等を活用したEBPMを推進し、政策の有効性を高め、国民の行政への信頼確保に資する機能を果たすことを目指す。

調査研究対象

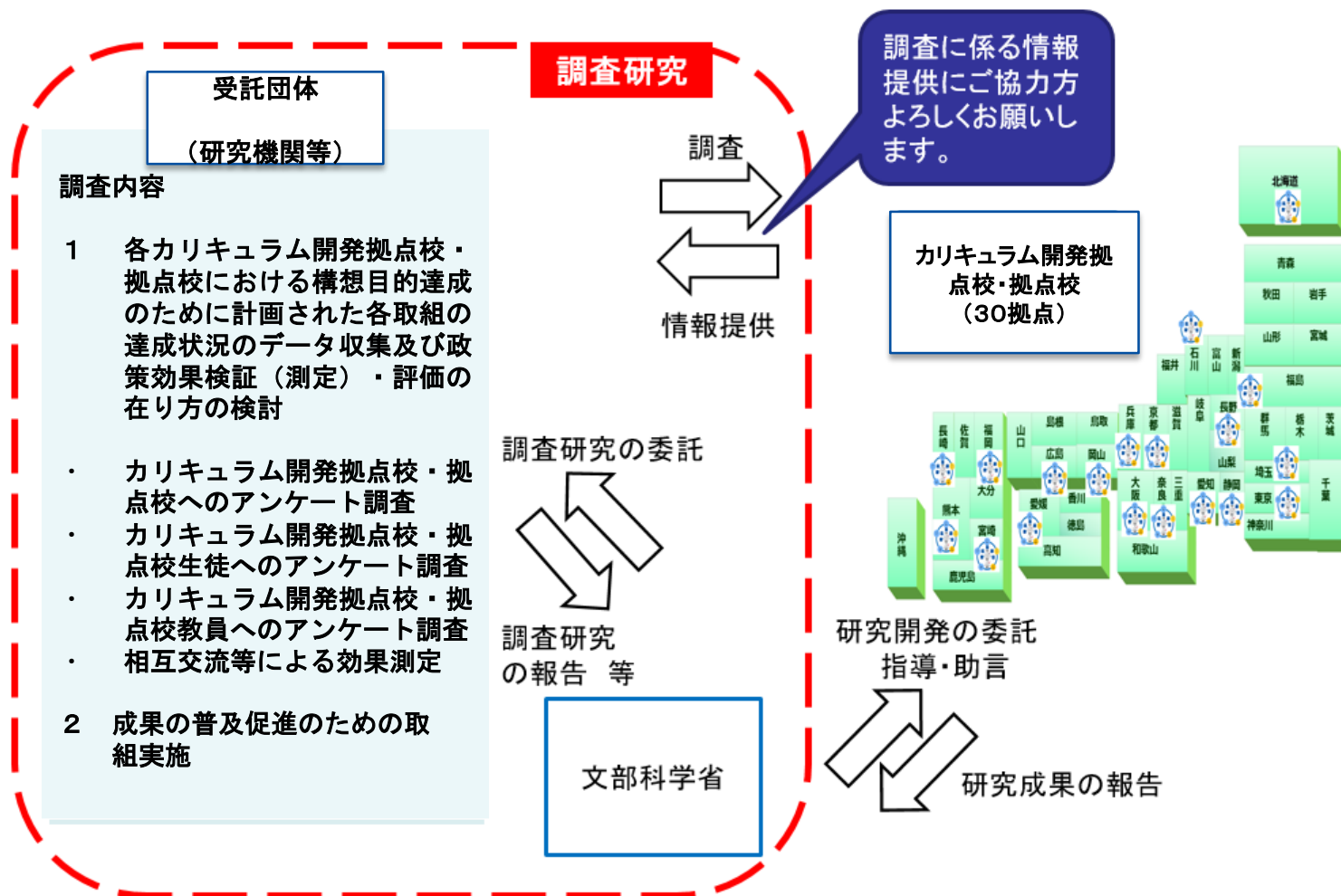
カリキュラム開発拠点校・拠点校30校
(令和元年度:10校、令和2年度:12校、令和3年度6校、令和4年度2校)

調査内容

- (1) 各カリキュラム開発拠点校・拠点校における構想目的達成のために計画された各取組の達成状況のデータ収集及び政策効果の検証(測定)・評価の在り方の検討
- ① カリキュラム開発拠点校・拠点校へのアンケート調査
構想目標・目的、ALネットワークの形成・実施体制、研究開発・実践
 - ② カリキュラム開発拠点校・拠点校生徒へのアンケート調査等
統一的な国際指標を活用したアンケート調査の実施・分析。
 - ③ カリキュラム開発拠点校・拠点校教員へのアンケート調査等
教員へのWWL事業の取組に関するアンケート調査の実施・分析。
 - ④ カリキュラム開発拠点校教員へのヒアリング
単なる好事例の収集ではなく、有識者を交えた現地でのヒアリングを通じて、最終年度のカリキュラム開発拠点校における好事例のプロセスに係るエピソードの収集・分析。
 - ⑤ 相互交流等による効果測定
他の学校の生徒及び教員を高校生国際会議に参加させるなどの交流による生徒個人の意識の変化又はカリキュラムへの反映状況など、相互交流によりもたらされる効果の測定。

(2) 成果の普及促進のための取組実施

最終年度のカリキュラム開発拠点校におけるこれまでの取組発表及びWWL事業調査研究結果の報告。(2月前後を想定)



【参考資料】カリキュラム開発拠点校からの質問に対する回答

質問

12月課題発表会（全国高校生フォーラム）は今年度もありますでしょうか？オンライン？会場？

回答

12月後半に開催予定。

開催日程と開催方式に関しては、新型コロナウイルス感染症の状況等を踏まえ、現在検討中です。（8月末までに決定し連絡する予定）

質問

- ・WWL,SGHネットワーク事業の今後の展開、見通しなどをご教示いただければ幸いです。
- ・SGHネットワーク校の指定は3年間ですが、更新ができるかどうか、また、その際に求められることはどのようなことか、教えていただければ幸いです。

回答

高校や国の枠を超えて、高校生に高度な学びを提供するALネットワークを形成した拠点校を全国に配置するWWLコンソーシアム構築を目指していきます。全国拠点機関をはじめ、地域拠点としての地域AL機関を設置していきます。そのため、これまで同様、カリキュラム開発拠点校を指定するとともに、研究開発期間を終えた自走する拠点校やSGHネットワーク校を含めて、高度かつ多様な学びを充実し、全国拠点機関や地域AL機関を通じて、全国すべての高校生がオンラインで参加できるようなシステムを開発します。
＜令和4年【全国拠点】1拠点（筑波大学）、【地域AL】2拠点（名古屋大学、広島大学）＞

SGHネットワークは、全校令和5年度までが指定期間です。更新に関しては、検討中です。

質問

- ・SGHネットワークの特色が不明瞭に感じます。
- ・SGHネットワークが今後どのような役割を果たして、
ことを想定しているのか。「総合的な探究の時間」のカリ
キュラム運営のモデルケースとしての役割を担うこと想定
しているならば、運営費の補助をお願いしたい。

回答

SGHの取組を引き続き実施する高等学校等を対象としたネットワークを構築し、全国高校生フォーラム及び連絡協議会への参加等、全国的な取組に継続的に参画することを通じて、これまでの取組の振り返りだけではなく他の学校での取組を見聞きする等の機会を捉えてさらなる発展をのぞむことができ、生徒にとっても切磋琢磨する機会を得ることができます。

質問

SGHNとしての（WWLと共有でもよいのですが）交流サイトや、教材などの共有について計画はありますか。

回答

現在の情報共有は、SGHネットワークも併せてWWL事業の専用サイトにて行っております。SGHに関する一部及び過去の情報はSGHの専用サイトでの共有も行っております。